

平成 21 年 7 月 28 日

## 住まいづくり支援建築会議 情報事業部会議事録（案）

日時：平成 21 年 7 月 24 日（金）18 時～20 時

場所：建築会館 7 階創業サポートセンター会議室

出席者：部会長 中田 捷夫

幹事 小檜山 雅之，山本 洋史（記録）

委員 加藤 晃敏，楠山 登喜雄，水津 牧子，吉川 徹

### ■資料

No.2-1 2009 年 5 月 27 日 情報事業部会議事録（案）

No.2-2 2009 年 6 月 2 日 住まいづくり支援建築会議運営委員会議事録（案）

No.2-3 2009 年 6 月 25 日 住まいづくり支援建築会議情報事業部会戸建 WG 議事録

No.2-4 2009 年度第 2 回 住まいづくり支援建築会議運営委員会プレーメン型地域社会づくり事業企画 WG 議事メモ

No.2-5 日本建築学会住まいづくり市民セミナー@仙台 周知用チラシ

No.2-6 住まいづくり市民セミナーについて

### ■審議

#### 1. 前回議事録

承認された。

#### 2. 運営委員会議事録（資料 2-2）

資料の確認後、内容に関して議論し、以下の意見が出された。

- ・学問は市民となかなか繋がらないことが課題。例えば、放送大学の失敗予防の住まい学は体系づけられた内容となっているが、市民はすべてを知りたいわけではない。
- ・登録会員に活躍の場を提供することについては賛成。ただし、情報事業部会と支援部会は、今後必要な場で協力をし合えば良いのではないか。この件はすでに情報事業部会内部で一度議論している。もう少し、学会と市民との関係を構築するため、行うべきことの目的をクリアーにしてから議論してはどうか？
- ・建築の失敗学は、住まいづくり支援建築会議の中だけでなく、もっと広い分野で検討すべき学問ではないか？

#### 3. 戸建 WG について（資料 2-3）

- ・住宅を購入する際に受ける「重要事項説明」をキーにして、一般市民は何に気をつけねばならないか、次回以降に検討していくこととなった。

- ・旧耐震基準の中古物件は、耐震診断の実施有無、実施した場合は診断結果を重要事項説明しなければならない。診断を受け不合格になることを恐れ、あえて未実施とすることも多い。未実施という情報の表現自体はグレーだが、クロに近い場合もある。このような事例を紹介すべきである。
- ・重要事項説明のフォーマットを次回までに収集し、各社での相違等を確認することになった。

#### 4. ブレーメン型地域社会づくり事業企画WGについて（資料2-4）

資料に基づき、既に開始している、ブレーメン型地域コミュニティづくり事業の現状について報告した。

- ・7/18のセミナー（齋藤広子先生）は、資料上では参加者が12名となっているが、最終的には22～23名の参加が得られた。
- ・10/3に開催されるブレーメン習志野オープン記念シンポジウムには、情報事業部会員で都合のつく場合、なるべく参加して欲しい。
- ・10/24の情報事業部会が提案するセミナーについても同様。なるべく参加する。また、講師のプロフィールについては、山本幹事が情報収集の上、ブレーメン相談室スタッフに連絡を入れる。
- ・昨年度新宿で開催したセミナーは、集客に苦労したが、今回はブレーメン相談室のスタッフがその役割を担うこととなる。

#### 5. 住まいづくり市民セミナーについて（資料2-5, 2-6）

- ・今年度の仙台のセミナーのチラシを市岡先生が作成した（資料2-5）。一般市民を意識しており、デザインが柔らかいイメージとなっている。情報事業部会のウェブページにも掲載済み。
- ・来年度の学会大会（富山）におけるセミナー開催に向け、小檜山幹事が(財)富山県建築住宅センター小林専務理事と8月12日に富山で打ち合わせを実施する。  
今年度の事例を紹介し、セミナーの内容や準備段階に関する情報提供を行う。今年度は仙台で開催するセミナーを、郡山の市岡先生が準備に当られたこともあるので、窓口は富山在住の方にこだわらなくても良いということを伝えたい。
- ・来年度のセミナーについては、時間の余裕があるので、じっくり準備を行う。

以上